

**【2006年8月17日】** ドイツに住んでいます。今妊娠19週めです。奥歯の詰め物が壊れかけて、隙間が出来ている為、できれば今のうちに新しくしようとの事。「麻酔は問題ない」との事ですが、量にもよるのでしょうか？

こんにちは。ドイツに住んでいます。

Q 今妊娠19週めです。奥歯の詰め物が壊れかけて、隙間が出来ている為、できれば今のうちに新しくしようとの事。痛みはなく、開けてみないと中の様子は分からないので、詰め物を金、セラミックにするのか、完全にかぶせてしまうのか、検討するとのこと。

他の回答にもあるように、婦人科の先生も「麻酔は問題ない」との事ですが、量にもよるのでしょうか？どれくらいまでなら大丈夫など・・・不妊治療でやっと出来た子供なので、どうしてももう一度麻酔について確認したく、相談のメールを送らせていただきました。

お忙しい中、申し訳ありません。よろしくお願ひします。

西新宿歯科クリニック 院長の武末秀剛です。

麻酔そのものが胎児に与える影響は限りなく低いといえます。が、影響が限りなく低いのとゼロとはその持つ意味が異なります。言い換えれば麻酔をしなければその影響はゼロですが、麻酔に限らず何らかの薬剤の使用は少なくともゼロより大きい影響を及ぼすものと私は考えます。

人によっては「ほとんど大丈夫なのであれば治療を希望します」と言われますし、「万が一ってことがあるなら治療を控えます」と言う方もいらっしゃいます。

どちらが正解ともいえません。

A しかし、私自身が考えるのは可能な限り歯科治療は安定期に施すべきということです。現在19週ということであれば、今は応急処置にとどめもう少し待って6ヶ月あたりの安定期での治療をお勧めします。発生学的にもそれ以前の胎児は些細なことで影響を受けやすい不安定な時期です。当然ながら歯科治療以外の様々な影響も受けやすいともいえるわけです。

本当の安全な考え方は出産後ともいえますが、産後はそれはそれでお母さん自身に歯科治療に通院できる時間的余裕もしばらく取れないでしょうから通常は安定期にしかるべき処置を完了しておくというのが一般的な考え方になります。どうぞそのあたりのことをご検討のうえ治療の時期を決められることをお勧めします。

ようやく願って生まれた命。その大切な命を守るのはお母さんしかいません。肝心なのは何かあっても後悔しない選択を重ねていくことだと思います。今は大切な時期です。どうぞご自愛下さい。

Q **【2005年10月29日】** 現在妊娠10週です。妊娠中であることは伝えた上で、2箇所を麻酔、削って詰め物をしていただきました。その際使われた薬剤等についてとても不安にな

ってきました。

はじめまして。現在妊娠10週です。

歯の治療は安定期が良いとのことですが、海外赴任を控え、昨日虫歯の治療を受けました。妊娠中であることは伝えた上で、2箇所を麻酔、削って詰め物をしていただきました。

その際使われた薬剤等についてとても不安になってきました。

上記のような治療で影響はありますか？どうぞ宜しくお願いいたします。

A

西新宿歯科クリニック 院長の武末秀剛です。

これからの治療であれば十分にお考えになられたうえでの受診をお勧めいたしますが、すでに治療が終わったのであればこれからの出産までの時期をお口の健口をどう保ちながらお過ごしいただくかということをお考えになられてはいかがでしょうか？

診察していただいた先生のご判断でそのような処置がなされたのであればほほ心配いりません。

【2005年9月29日】 現在産後1ヶ月で母乳で育てています。3日ほど前から左下奥から2番目の歯が激しく痛みだし、歯科に行ったところ母乳に影響する為、薬を出してもらえず、現在はイソジンで消毒したり、冷やしたりしている状態です。

左下奥から2番目の歯についての相談です。

7歳の時に神経の治療済の歯なのですが、19歳の時に炎症を起こして再度神経の治療をしました。

現在はセラミックがかぶせてあります。

1年前にまた痛みがあり、かかりつけの歯科では神経の薬がつまっている先に膿の袋があり、これ以上神経の治療は困難とのこと。根が二つあるので、半分抜歯してブリッジにするか、一本抜歯してしまうかと言われ、そのときは抗生剤と痛み止め、上の歯を削り噛みあわせを調節することによって様子を見ることになりました。

Q

その一ヶ月後妊娠がわかったため積極的な治療はできないということになり痛みもたまに少し痛い程度でした。

現在産後1ヶ月で母乳で育てています。

3日ほど前から激しく痛みだし、歯科に行ったところ母乳に影響する為、薬を出してもらえず、現在はイソジンで消毒したり、冷やしたりしている状態です。

数日なら母乳をミルクにかえたり、数時間なら授乳前に薬を飲むことも可能だと思います。

何ヶ月もがまんできる痛みではなくなってきたので、治療していただける歯科を探しています。治療方法があれば母乳への影響、リスク、金額の概算を教えてください。

西新宿歯科クリニック 院長の武末秀剛です。

母乳育児と薬の問題はお母さん達を悩ます大きな問題です。

日本の薬の能書には動物実験で少しでも母乳中に薬が移行すると母乳を止めなさいと書かれているため、母乳育児に関心のない医療者は簡単に母乳を止めるように指示します。

数日でもミルクにしてしまうと母乳に戻すことは非常に困難です。

またミルクにすると赤ちゃんの機嫌が悪くなり扱いがいつも以上に大変になります。

このようなことを含めて、お母さんが薬を必要としたとき、その薬を使うことのメリット、デメリットを比較して薬使用の是非を考えます。

A 母乳育児を大切にしている国では一つ一つの薬について本当に影響があるかを調べ安全性を確認しています。

一番大規模な調査を行っているのがアメリカで、母乳を大切に考えている日本の医療者はアメリカ小児科学会の薬事委員会の見解を参考にして母乳と薬について判断しています。

お伺いした限りでは明らかに薬を使用するメリットがデメリットを上回ることが予想されるので、安全な薬を使用しての治療を行なうことが必要のように思われます。

母乳育児中の薬の服用は、できるだけ授乳直後に服用すること、1日のうちで最も授乳間隔の空く授乳の終了直後などに服用するようにしたら薬の母乳を通した赤ちゃんへの影響を最小限にできます。

金額については特殊な治療以外は基本的に保険の範囲内での治療が可能ですので通常の歯科治療の場合と変わりありません。

**【2005年9月15日】** 現在4ヶ月になる赤ちゃんに母乳を与えており、詰めた薬による影響がないかも心配しています。(治療に当たっている医師の方からは影響は無いといわれております。)

6月に右の一番奥の歯が痛み、歯医者に通い始めました。

Q 10年ほど前に神経を抜いた歯で、銀のかぶせ物を取ったところ痛みはなくなりましたが化膿している可能性があるとのことで詰め物をすべてはずして根っこの治療をしてもらっています。

治療は毎回ジーピーソルベントという薬を詰めてもらっています。

3回ほどは薬に何も付着しなかったのですが、4回目から膿が付着してくるようになりました。

治療が長引いておりもうすぐ3ヶ月が経過するのでこのまま同じところで治療を続けるべきか悩んでいます。

また、現在4ヶ月になる赤ちゃんに母乳を与えており、詰めた薬による影響がないかも心配しています。(治療に当たっている医師の方からは影響は無いといわれております。)

以上2点、回答をよろしくお願いします。

西新宿歯科クリニック 院長の武末秀剛です。

授乳中のお母様の治療は妊婦の方同様歯科治療における多くの注意点がございます。先生が授乳のことをご存知であれば問題ないように治療をされてるはずでしょうからご安心されてください。

A  ただし、使用可能な薬剤等に制限がございますからどうしても治療期間が長引いてしまうことも考えられます。

現時点で転院をお考えになられるよりは同じ病院でしっかりと説明を受け納得をされたうえで受診されることがベストな選択かと考えます。

もし納得される説明が得られないのであればそのときに転院をお考えになられても遅くはないでしょう。

【2005年9月10日】 相談したいことは、歯茎(根に近いほう)から膿がでていて、2回切開して膿の袋を取ったのですが治りません。妊婦でも治せますか？(麻酔のこととか)、子供を産んで落ち着くまでほっといても大丈夫なものですか？

初めまして。

宜しくお願いします。

相談したいことは、歯茎(根に近いほう)から膿がでていて、2回切開して膿の袋を取ったのですが治りません。

Q  それと膿がでていているところの歯は差し歯でその歯を外さず治したのですが出来るものなのでしょうか？

通っていた歯医者さんには大学病院を紹介すると言われたのですが、今妊娠3ヶ月なのと上の子の幼稚園の帰宅時間が早いので大学病院へ通うことが出来ません。

このような場合どんな歯医者に行けばいいのですか？(口腔外科とかがいいのですか？)

妊婦でも治せますか？(麻酔のこととか)、子供を産んで落ち着くまでほっといても大丈夫なものですか？

臭いも気になるので早く治したのですが・・・

宜しくお願いします。

西新宿歯科クリニック 院長の武末秀剛です。

A  どうしても妊娠中でいらっしゃる、それも3ヶ月であれば歯科治療の麻酔、レントゲン、お薬などの様々な制限が強いられてしまい一般的には安定期までは緊急性のない場合歯

科治療は避けた方が良いとされています。

状態に関しては把握できないのでなんともし上げられませんが完治の難しい状態のようにも思われます。

その点をふまえずはかかりつけの先生に現在最も望ましい方法をお尋ねになられると良いかと存じます。

**【2005年8月25日】 親知らずの抜歯後、処方箋で、妊娠の可能性があることを言うと、抗生物質と鎮痛剤を処方してもらえませんでした。やはり膿みますか？膿んだ場合どうなるのですか？**

今日、右上の親知らずが痛むので歯科に行って抜いてもらいました。

痛いのが苦手なので麻酔をしっかりしてもらって、普通に引っ張って抜きました。

縫い合わせることはしませんでした。

治療中に先生には言わなかったのですが、処方箋で、妊娠の可能性があることを言うと、抗生物質と鎮痛剤を処方してもらえませんでした。

やはり膿みますか？膿んだ場合どうなるのですか？

あと麻酔もよくなかったのでしょうか。

こわくて食事ができません。

今は、痛みもかるく、腫れもありません。

西新宿歯科クリニック 院長の武末秀剛です。

すでに抜歯を終えられて今現在痛みもさほどないのであればお薬をなまれなくてもなにも心配される必要はありませんよ。

抗生物質はあくまで抜歯後の感染の可能性を低くするための予防投与であるため、のまなかったら膿んでしまうというわけではありません。

あくまで念のためなのです。

通常当院でも妊婦や授乳中の女性の患者様への治療や投薬には細心の注意を払っております。

可能性が低くても担当の先生には妊娠の可能性があるとということをお伝えになっていた方がよろしいかと思えます。

**【2005年8月3日】 妊娠中(臨月)の歯の治療について質問です。現在妊娠10ヶ月(36週)で、奥歯の治療した被せの下が虫歯になっており、半月ほど前に少し欠け、欠けが徐々に広がり、現在は歯の3分の1が欠けた状態になっています。何とか出産までに不快感を取り除きたいのですが、何か方法はありますでしょうか。**

妊娠中(臨月)の歯の治療について質問です。

現在妊娠10ヶ月(36週)で、奥歯の治療した被せの下が虫歯になっており、半月ほど前に少し欠け、欠けが徐々に広がり、現在は歯の3分の1が欠けた状態になっています。

神経は取ってしまっていたようで痛みは全くありませんが、欠けてとがった歯が舌に当たり、常に不快感や痛みを感じています。

特に食事が辛く、あまり噛まずに飲み込んでしまうのと子宮による胃の圧迫の為に胃の調子が悪くなってきました。

何とか出産までに不快感を取り除きたいのですが、何か方法はありますでしょうか。

希望としては、何か詰め物をして歯の表面を滑らかにする応急処置があればと思っております。

出産までにお答えいただければ幸いです、宜しくお願い致します。

西新宿歯科クリニック 院長の武末秀剛です。

現在妊娠10ヶ月でいらっしゃるのであれば予定日間近ですね。

いつ出産になってもおかしくない時期ですから通常なら歯科治療はもう受けるべきではないと物の本にも書いてあるはずですが。

しかし、今回の緊急事態の場合は絶対に歯科に受診されるようになさって下さい。

おっしゃってる事実が全て正しいとするならば1回の治療でそれもクリニックにて不快な痛い思いをすることなく問題は解決するはずですが。

ご希望の通り、中の状態はさておき、とりあえず何かしらの詰め物をして表面を滑沢にして欠ける前の状態への一時的な回復が可能はずですが。

きちんと妊婦の方への治療を熟知されてる先生であればまず問題なく解決できますからご安心下さい。

A 正直申し上げて私自身も恥ずかしながら自分が人の親になる過程を経験する前は教科書的な知識でしか妊婦の方と接することができませんでした。妻のお腹の中の子供の成長を目の当たりにしてからは本当に以前の自分の見えていた景色とそれ以降の景色の違いに驚きました。

以前の自分の視野の狭さは未熟以外の何者でもなかったと反省したのも事実です。

もちろんお子さんのいない先生方を否定するものではありません。

あくまで自分自身の場合がそうだったという実体験のお話、雑談だと思ってください。

まずほとんどの先生が必ずきちんと対応してくれるはずですからどうぞかかりつけの先生への1日も早い受診、ご相談をお願いいたします。

陰ながら元気な赤ちゃんが生まれていらっしゃることを心からお祈り致します。(なんとなく男の子っぽい気がします・・・)

【2005年7月29日】最初の歯医者さんは授乳を諦めて痛み止めを飲むことを勧め、次の歯医者さんは授乳には影響がないものの、痛みには効かない抗生物質を処方するだけです。痛みを和らげて、授乳中なので、痛み止めは飲まないようにする方法はないのでしょうか？

はじめまして。

去年妊娠してから奥歯の虫歯治療を中断していたのですが、最近突然ものすごく痛み出したので、近所の歯医者さんに治療してもらっています。

これまで神経を抜く治療を何回かおこなっており、もうほとんど神経を抜き終えているとのことなのですが、夜も眠れないほどの痛みが続いています。

処方された痛み止め(オパイリン)を飲んでも全然効きません。

ほとんど神経を抜き終えているのにこんなに痛いなんて、どう考えてもおかしいと思い、そのことを歯医者さんに話すと、「根元の方が炎症をおこしているのかもしれないね」と言って、より強力な痛み止め(ロキソニン)を処方されただけでした。

レントゲンを撮って調べたり、治療方法を変えてみたりすることはありません。

このままこの歯医者さんに治療を続けてもらうのが不安になり、治療後その足で別の歯医者さんに診てもらいに行きました。

この別の歯医者さんによると、「(私が痛いと言ったら)すぐに神経を掃除してしまうのではなく、痛くてもそのままにしておいた方がいい。歯をいじりすぎ。」とのことでした。

この別の歯医者さんは治療も何もせず、痛み止めではなく、抗生物質を処方しました。

さっそく処方された抗生物質を飲みましたが、結局痛いままです。

まだ子供に授乳している時期なので、母乳に影響のある痛み止めは処方されても飲むわけにはいかないのです。

最初の歯医者さんは授乳を諦めて痛み止めを飲むことを勧め、次の歯医者さんは授乳には影響がないものの、痛みには効かない抗生物質を処方するだけです。

・痛くて夜も寝られないわけですから、痛みを和らげてほしい。

・授乳中なので、痛み止めは飲まないようにしたい。

この2点を満たしてもらう方法はないのでしょうか？

以前、前歯がすごく痛んだときに行った歯医者さんは、レントゲンを撮って歯の根元にある膿を注射針で抜き取ってもらったら、すぐに痛みがとれました。

根拠はありませんが、今回もこれと同じかもしれません。

なお、その後私が引っ越したため、残念ながら今からこの歯医者さんに掛かることはできません。

あと、急にこの歯が痛み出した原因がどうか分かりませんが、歯が痛み出す数日前に隣の親知らず(これも虫歯)を抜歯しています。

この抜歯は歯をいじりすぎの最初の歯医者さんにしていただきました。

授乳を優先して痛み止めを飲んでいないため、あまりの痛みにつらくてたまりません。

どうか、よいアドバイスをお願いします。

西新宿歯科クリニック 院長の武末秀剛です。

妊婦の方や授乳中のお母様とお薬に関しては我々もいつも頭を悩まされます。

授乳中の方が解熱鎮痛剤を服用してよいかどうかの点については、公式な文書には、服用してはいけないし、服用した場合には授乳を中止するよう書かれています。

それは

1.子どもに使用する薬ではない

2.母乳中に出てくる薬であるの2点が主な理由です。

そこで問題になるのは1.です。

この薬は子どもへの安全性が「確認されていない」ため、現在は大人にしか使用が認められていません。

子供に使用したことがないので、安全性についてのデータがないのですがだからといって危険な薬というわけでもありません。

ほぼ同様な薬が小児にはすでに使われていることから考えても、一概に問題とはいえないと思います。

また母乳中に出てくる量は少ないと考えられるので、その点においても、授乳中のお母さんが服用して直ちに問題になるとは、考えにくいですね。

A もしも問題がおきるとしたら、「熱さまし」としての働きが強くでることの方でしょう。

つまり「低体温」です。

しかし、そのためにはお母さんが相当多量な薬を飲まないといけませんから、赤ちゃんよりもお母さんの低体温が先に起きてくることになるでしょうね。

つまり、通常の使用で、赤ちゃんへ問題がおきるとは考えにくいのです。

ですから痛み止めを飲むなら授乳をやめるとか授乳中だから痛み止めを使用できないといった杓子定規な考え方はあまり意味がないと考えます。

授乳してないに関わらず薬を服用すること自体がどなたにとっても「もしかして副作用が強くなるかも、アレルギーがでるかも」などのリスクを少なからず背負ってるわけです。

薬を服用することによる有益性(痛みが止まる、腫れが引くなど)がそのリスクを上回るであろうと判断されるからこそ皆さんお薬を飲まれるわけです。

授乳中の方にとっても同様なことが言えるはずですよ。

個人的な見解の域を超えませんが「ロキソニンが根治療法ではなく対症療法の薬ですので、症状がなくなれば使用をやめて下さい。その点さえ守れば、心配はいりません」と考えます。

論点は少々ずれた感もありますがとにかく原因への直接的なアプローチをしなければい

くら痛み止めを飲んで痛みが一時的に引いても意味はありません。

それにはまず的確な診断とそれに対する治療方針の決定が不可欠です。

まずは今かかっていらっしゃる担当医とよく話してから今後の治療を最も効果的にすすめられることを願います。

**【2005年3月2日】** 現在、妊娠4ヶ月です。左下の銀歯が取れましたが、妊婦のための本に「妊娠中、歯の合成金属を取り除いたり、新たに埋めたりするのはよくない」と書いてありました。胎児への影響はあるのでしょうか？

現在、妊娠4ヶ月です。

2週間ほど前にフロスを使って歯間を掃除中、左下の銀歯が取れました。

次の婦人科検診の際、先生と相談してから歯医者に行く予定でそのまま放ってありますが、先日、こちらで読んでいる妊婦のための本に「妊娠中、歯の合成金属を取り除いたり、新たに埋めたりするのはよくない」と書いてありました。

なんでも微量の水銀が含まれているからとのことで胎児への影響を考えてのことのようです。

日本で埋めてもらった銀歯にもそのような成分が含まれているのでしょうか？

胎児への影響はあるのでしょうか？

放っておいてその成分が滲み出たりしないのでしょうか？

よろしくご教授願います。

西新宿歯科クリニック 院長の武末秀剛です。

水銀を主体とした治療法にアマルガム充填法というのがございます。が、この場合あくまで直接口腔内での詰め物であり、そのままの形で取れることはないの今回取れた金属はそちらで読まれた本に書いてあった水銀の材料ではないのではないのでしょうか？

個人的には妊娠中の治療に関するその本の意見にはある面で異議を申したい気持ちです。

そのようなことを心配しすぎたらたとえば日常生活で口にのける野菜や魚、お菓子の類にまったく害になるものが含まれていないかといいたいのです。

つまり現代の社会ではどうしてもそのようなリスクから完全に避けられないのです。

ただし、妊娠中の治療に関しては各時期における治療によるベネフィットがリスクを上回るような治療でなければ施されるべきではないのです。

我々歯科医師は常にその点に重きをおき判断を行なうのです。

放っておいて成分が滲み出すかどうかの心配よりも、治療するか否かはさておき、今現在のおかれてる状況下でどうするのが現在においてのみならず将来まで考慮したうえで最もベネフィットを得られる絶対数が大きくなるのかを専門医に判断してもらって下さい。

それがすなわち最善の方法を見出す近道でしょう。

【2005年2月18日】妊娠をしてから知覚過敏がひどくなり時々頬がはれたり頭痛がします。完治するには産後に噛み合わせなどの調整をするしかないと言われましたが、産後までこの痛みを我慢しないといけませんか？

よろしくお願ひ致します。

10代の頃に抜糸をとまなう矯正をしました。

Q 8年ほど前から歯肉が2~4ミリ程下がってきて、今かかっている歯科に矯正の後遺症だと言われました。

妊娠をしてから知覚過敏がひどくなり時々頬がはれたり頭痛がします。

いま歯石を取ってもらっていますが、完治するには産後に部分矯正や噛み合わせの調整をするしかないと言われました。

とりあえず知覚過敏がひどいところだけでも痛みの緩和はできないのか聞いたのですが、無理と言われました。

産後まで我慢しないといけないのでしょうか。

西新宿歯科クリニック 院長の武末秀剛です。

単に知覚過敏だけでは頬が腫れることはありません。

つまり骨の吸収を伴う歯周病である可能性があります。

歯周病からくる知覚過敏の場合は症状の緩和まで時間がかかることが多いのです。

A 妊娠中ということとを考慮するとやれる処置は確かに限られてしまいますが、痛みのひどいところの緩和は不可能ではないかもしれません。

状態を拝見していないのではっきりと申し上げられない部分もございますが、その歯科医院さんで「無理」とはっきり言われたのであれば、そこ以外の別の歯科医院でも同じ意見かどうかセカンドオピニオンを聞かれてみるのも良いでしょう。

【2004年10月18日】妊娠7ヶ月半です。削ってうがいをした時にたくさんの黒い粒子がでてきましたが、多少のみこんでしまいました。胎児への影響がないか心配です。

Q 前歯2本をセラミッククラウン(メタルボンド)の治療を受けています。

土台を入れる治療の時に、削ってうがいをした時にたくさんの黒い粒子がでてきましたが、多少のみこんでしまいました。

胎児への影響がないか心配です。何かしらの害はないのでしょうか？

A 西新宿歯科クリニック 院長の武末です。

歯科治療を行う上で口腔内に使用する材料は仮に少量を飲み込んでしまってもすべて安全なものだとお考え下さい。もちろんだのような材料であれ大量に体の中に取り込まれれば悪影響を及ぼすものです。しかし、一部を誤って飲み込んでしまった程度で大事なお子様(特に安定期ですしね)への影響はご心配される必要はありません。

むしろ心配しすぎて不安になり過ぎてしまわれるお母様の精神状態の不安定さの方が影響は大きいはずです。ですから私のアドバイスを信じていただきどうぞご出産までの残りの時期を大事にお過ごしください。

そして現在治療中でいらっしゃるなら許された歯科治療可能な時期は原則として安定期までです。それまでにまた心配になられることがありましたらご相談下さいね。

**【2004年7月11日】 妊娠しているかしていないか分からない時は、親不知は抜かない方がよいのでしょうか？**

4月に左上に親不知がある事が分かり、歯が痛いというより歯茎が少し痛くて違和感を感じていたのも、いつもの歯医者さんへ行くと、まだあまり出てきていないし、斜めに生えているようなので抜けないと言われ、知人に違う歯医者さんを紹介して頂きました。

そこへ行くと抜けると言われましたが、妊娠しているかもしれなかったのもう少し様子を見ましようとなり、腫れ止め(歯茎に塗っただけです)終わりました。

その後、歯茎の腫れは引き、その後やはり妊娠していたようなのですが、6wで流産してしまいました。その時、抜いていれば問題なかったのですが、歯茎も痛くなく親知らずの事すら忘れていました。

しかし、先月の中旬にまた歯茎が痛くなったので歯医者さんへ行くと、前との間隔があまりないから抜いた方がいいねと言われました。

Q

しかし、トミロンと言う痛み止めを出す場合があるので、妊娠をしてるかしていないか？ハッキリしない場合は心配だと言っていました。

婦人科の先生も、なるべくなら妊娠5ヶ月以降に抜いた方がいいと言われました。

また、その日も腫れ止めを塗られて帰ったのですが、妊娠しているかしていないか分からない時は抜かない方がよいのでしょうか？

また、今は腫れていませんが、妊娠が分かったとして5ヶ月までは腫れても、その都度腫れ止めを塗ればよいのでしょうか？

妊娠していなければ治療に専念するつもりです。

1度流産をしているので、今度もし妊娠していたら絶対無事に産みたいんです。

腫れを腫れ止めでおさえるのもよいのか？悪いのか？わかりません。

ちなみに、妊娠をしているのが分かるのは来週末ぐらいです。

先生、お忙しいと思いますが宜しくお願い致します。

西新宿歯科クリニック 院長の武末です。

妊娠中の歯科治療に関しては、我々も本当に慎重に対処させて頂いております。

ご存知の通り歯科治療はストレスもかかりますし、なにしろ基本的に外科処置を伴う治療が多いというのが妊婦の方にとっての最大の問題点です。

もちろん、安定期に入ってからであれば、ほとんど通常の治療が可能ですが、その前や臨月に入ってからの治療に関しては応急処置程度にとどめる事がほとんどです。

麻酔薬や飲み薬はわずかでも胎盤通過性があるため、胎児への影響を全て否定できないのです。麻酔に関してもまずほとんど問題ないといわれていますが、可能であれば安定期に治療を行うのがよろしいでしょう。

**A** もし今回妊娠されている事が判明した場合、かかりつけの先生とご相談いただいて、抜歯の時期を決められるとよいでしょう。

個人的には無事出産された後に抜歯されることをお勧めします。

それまでは丁寧にブラッシングすることで、ある程度の腫れは予防できますし、その方法も歯科医院で歯科衛生士に指導してもらえます。

万が一、妊娠中に腫れた場合でも一時的に腫れを引かせる事は可能です。ただ、状態によってはその限りではありませんので、最終的には診察してもらった先生の判断と患者様のご希望によります。

今回、妊娠されていなかった場合は、是非これを機に妊娠前にきちんと抜歯しておかれることを強くお勧めします。

**【2004年4月22日】** 現在臨月に入った妊婦です。物がうまくかめず、食欲が落ちています。また、出産のときにちゃんといきめるのか不安です。

**Q** 一応虫歯の治療は終わっており、4ヶ月の時には妊婦の歯科検診にも行き、異常なしでした。しかし、1週間ほど前から、右上一番奥の歯(銀で全部かぶせてあります。神経があるかどうかは不明)が少しでも噛むと痛むのです。強く噛むと激痛が走ります。また、デンタルフロスを使うとそのあたりから出血があります。何も触れなければ全く痛みはありません。体調によっても痛さは変わるようです。

臨月なのでもう治療はできないと思うのですが、物がうまくかめず、食欲が落ちています。また、出産のときにちゃんといきめるのか不安になってきました。どうしたらよいでしょうか？

西新宿歯科クリニック 院長の武末です。

**A** 一般の歯科検診では銀歯の中に異常があるかどうかまではわかりません。

視診のみで内臓の異常が分からないのと同様です。ですから4ヶ月の時に全く問題がなかったとは言い切れません。

恐らくその症状から推測するに、中の根っこの先が膿始めている可能性が考えられます。たとえ臨月といえども その時点でとりあえず可能な処置のみを行い、無事に出産できる状態まで回復をはかり、産後に続きを行われるのが理想的です。

確かに臨月となれば歯科の治療に関してはかなり制限されますが不可能ではありません。お近くの歯科もしくはかかりつけの歯科(できれば今までのデータがあると理想的なので)になるべく早くかかれるようにして、その旨ご相談されてみて下さい。

応急処置だけでも食欲の回復と出産時の不安は取り除く事はできるはずです。